

オープニング ギャラリートーク②「米沢藩士の調べ方」

担当学芸員 佐藤正三郎

はじめに

- ・本展覧会は、米沢藩士の多彩な仕事と、階層ごとの役割を紹介。
- ・寄贈、購入により収集した当館所蔵資料の一つの核＝米沢藩士関係資料の魅力
- ・米沢藩士を理解する上でのポイント、様々な事項を調べる際のコツを紹介。

※これまでの問合せ対応（レファレンス）をもとに。

- ・以下、No.は展示資料（キャプション、配布目録）と共通。
- ・国宝「上杉家文書」約2000点／上杉文書（未指定の資料群、1万点以上）

マイクロフィルムで閲覧可能（図書館）

◆一般的な書籍（入門編）

- ・「御家中諸士略系譜」（『上杉家御年譜』巻23、24）：いろは順、中級藩士以上の系譜
- ・『上杉氏分限帳』（高志書院、2008年）：越後時代～寛永の初期分限帳類、索引あり。
- ・『寛政五年分限帳』（米沢市史編集史料第1号）：江戸中期。別冊手書きの索引あり。
- ・『慶応元年分限帳』（市立米沢図書館郷土資料集）：索引付。

◆市立米沢図書館 郷土資料担当（ここにしかない便利なツールが揃う）

- ・米沢藩士の履歴

上杉文書 先祖書・勤書の手書き索引／分限帳類の紙焼き

- ・藩士の居住地「御城下并原々屋舗割帳」 文政8（1825）、天保15（1844）
弘化3（1846）分は手書き索引あり（当館情報ライブラリーにも所蔵）
- ・基本的な書籍と、資料（但し、くずし字が中心）を読む

紙焼き・コピー／マイクロフィルム／デジタル（大部分はネット公開）

◆市立米沢図書館デジタルライブラリー（図書館デジタル）

<http://www.library.yonezawa.yamagata.jp/dg/>

- ・全体の資料画像を高画質で掲載。
- ・分限帳。越後時代～嘉永2年まで7種／先祖由緒書（中級藩士）

◆上杉博物館・市立米沢図書館文化財総合データベース（総合DB）

<https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp/togodb>

- ・主な資料情報（No.、所蔵先、年代、サイズ、作成者など）と一部小サイズ画像
- ・博物館と図書館の資料を一括で検索可能（1.3万点以上）。

1 戦の備え

○展示のキーワード 藩士の階層を知ろう！上級・中級・下級・(足軽以下)【表1】

・**藩士所有の武具を調べる**：「武器御改帳」(上杉文書 863~875)：藩への届け出。

※具足の形状、威の色、兜の前立／陪臣含めた所有数など(精粗あり)

※明暦2、寛政6、文化8、天保12、嘉永2の各年。但し、中級以上。

「旗指物馬駿等書上面付帳」により、旗の意匠もわかる。※武具調査の参考

・モノ資料に現れる階層性(No.1、2、5/7~9)。但し、詳細な調査が必要。

・**家紋を調べる** 上級藩士は「米府鹿子」巻三(図書館デジタル)・菩提寺も掲載。

中級以下は困難…(各家文書)：家紋・菩提寺の情報は藩が把握したのか？

・No.4：「名前」(実名)だけでは調査困難。史料上は仮名(通称)が一般的。

※先祖書、勤書には実名も記載。但し、同苗が多いと困難

明和6年城下絵図：佐藤 120件、鈴木 72件、山田 42件…

・No.10 1670年代(15万石時代)の陣形図(一の備 約1300名/全3部隊3150名)

※上杉文書853「御軍役記録」(近代の写本)記載の人名と対照→年代を推定

※作成の経緯は未詳(若殿綱憲の元服?)。軍事上の各藩士の役割が分かる。

2 藩政の確立 →3/7「藩士の仕事百景」

・会津120万石から米沢30万石 直江兼続=専制的な執政体制) No.12、13

・「先祖書」の活用。No.13 三瀨式部=長政と判明。兼続の側近で、当時は隠居。

・越後~米沢の初期家臣団調べは『上杉氏分限帳』(高志書院、2008年)が便利。

3 階層と役職 →今回の中心

○組織の基本としての軍事編成(組)と番方 【図】

・「武士」内部には、一括りにできない階層性(家老から足軽以下まで)

※調べたい人物について、まず階層がわかると効率的(調査対象の限定が可能に)！

・No.21「御家中階級」(役職と組ごとの序列)：役職就任時の辞令と礼・婚礼の差異

高家・御家老・侍頭…中之間：諸役成(役職就任)は上意(藩主)、以下は家老名

諸役頭・御堂将・勘定頭、代官…御台所頭：(御殿内の)表御座の間にて御礼

御作事屋頭、組付諸役頭…並医師、御茶道、御役前役人、御勘定次役

御小納戸組(以下は騎馬叶わず)、御厩方(これ以上は侍分)：基本的に馬上≒侍

扶持方以下(下級)：代官元メ役、郡割所頭役、外様外科、猪苗代組…

(中略) …御助扶持、御廟足輕、金山廻、時主(時計坊主)

- ・ No.25 役屋(支城→出張所): 主に上級藩士が城代(後に役屋将)

藩境に近い中山、鮎貝、荒砥、小国、糠野目(高畠): +御付馬上+足輕+陪臣

- ・ No.22、37 藩士(上杉家家臣)の逸話を知る(甘粕継成の編纂物)

○役方(政治上の役職): 奉行(家老)を頂点に (組織図を参照)

- ・ 雅号を調べる No.28 讚:「華溪 中 徳修」とは?

長尾直茂「山形県漢学者総覧」『山形大学紀要(人文科学)』15巻4号: 索引

『米沢市史』索引、市史、市史編集資料…/ (丸山家) 雲井龍雄関連文書

○上杉家の家政を補佐する No.38 国宝「上杉家文書」 上杉鷹山書状

- ・ なせばなる…9代藩主上杉鷹山和歌。実子顕孝(あきたか)の教育にあたる家臣に示した教育方針。同時期に、教育係の増員(学問、武芸): 後継者育成。

- ・ No.40 女性を調べる 難しさ 系図類でも未収録/名前なしも多い…

分限帳: 寛政5年: 7名(名前無し)/慶応元年: 53名(出自含め詳しく)

奥の資料から: No.40/染崎・とせ・かよ・やを・竹川・はる(出自未詳)

4 戦に準じる (江戸勤番と火消し役) →次回 3/7「藩士の仕事百景」

- ・ No.42 鷹山側近間の書状。足輕や人夫(百姓)の江戸藩邸からの逃亡対策。
- ・ 参勤交代時の人員: 藩士+領内人夫/江戸近辺では増員(人材派遣業社から雇用)
- ・ 江戸藩邸には多数の御用商人・職人: 米沢藩の江戸藩邸社会: 今後の課題…

5 技芸と内職(サブタイトル 芸達者)

- ・ No.50 医師を調べる 藩士と同様+門人(師弟関係)が基本

(藩医/宿場医/藩の御用/町医師格/医師) 医師免許の無い時代…

(まずは図録『医家の系譜』/『戊辰戦争と米沢』に在村医も(戊辰は完売)

『米沢藩医堀内家文書』: 内部資料にデータと索引あり

各自治体史: 特に『南陽市史編纂資料』: 舟山道也家文書、戸田新兵衛家文書

- ・ No.51 絵師を調べる 『米沢ゆかりの絵師たち4』 ※1~3は図録無し

館蔵 目賀多家関連資料(絵画作品の他、日記、書状類も多数)

- ・ No.53 刀工を調べる 図録『米沢の刀工 よみがえる赤羽刀』(完売)

長岡正『置賜米沢の刀工と金工師たち』(私家版、2001年)

- ・ No.54 職人を調べる 藩士と同ツール+要検討

- ・ No.56 武芸と師弟関係を調べる 市史+勤書(修行記載)

+伝書：館蔵も多数、但し調査（編纂資料）は少なく、武芸と流派は多い…

…兵学・刀・弓・鉄砲・鎗・捕縛術

西洋流砲術の一部：浅間家門人は図録『戊辰戦争と米沢』収録

参考：安政5年「武術立之次第」（居住地ごと？の諸流派武芸者名簿）

- ・ No.60 **陪臣を調べる** 上杉家－清野家（直臣、藩士）－古川家（陪臣）
※武士であったとしても、直臣とは限らない／陪臣を調べる難しさ
※藩（上杉家）では十全には把握しておらず、主家（上では清野家）資料が基本。
→陪臣の資料による新たな可能性（古川家文書 1000 点以上）
- ・ No.61 筆作りの内職→文書記載の人名を調査（上記のツール活用）
→社会的な関係性が明らかになってくる（同格や近所で協力しての生産販売体制）

6 幕末・明治 →3/7 ギャラリートーク 「藩士の仕事百景」

- ・ 連綿と続く「勤書」は弘化年間まで：幕末は分限帳＋ α の点をつなぐ作業が必要
- ・ No.64 **戊辰戦争時の出陣地を調べる** まずは階層＋隊頭名を知る必要あり
当初は出陣地把握も、戦地拡大と増派に伴い把握困難に…
 - ・ 基本資料として、御年譜＋日記類（置賜史談会『戊辰の役と米沢』翻刻多）
 - ・ 『戊辰戦役関係資料』米沢市史編集資料：「忠死名籍」戦死者はわかる
 - ・ 甘粕継成「軍務雑記」（図書館デジタル・翻刻冊子もあり）参謀で全般的
 - ・ 農兵の募集と出兵→新銃隊など、武士身分の拡充（さらに調査困難…）
- ・ No.68 近代の部隊編成表 主に隊長級＋役職者のみ ※分限帳は明治2年まで。
- ・ No.70 **上層の陪臣を調べる** 上級陪臣（馬上）＝中級直臣／中級陪臣＝下級直臣
興産社：上級陪臣による士族身分獲得運動→産業育成事業へ（100名余の連名）
- ・ No.71 **番付（有名人・商家など）を調べる** ※後期は同名の別史料に展示替
文久元年（1861）「御国恩家業鑑」（小野栄『米沢の町人町』、1987年）
明治35年（1902）「米沢商工案内」（当館蔵、総合DB）
昭和7年（1932）「大日本職業別明細図 米沢市」（当館蔵、総合DB）
- ・ 近代以降の難しさ：藩の消失／館蔵資料少／個人情報…
→新聞資料、名簿・名鑑類、近代の地図など書籍類が有効か…

◆**藩士の居住地を調べる**

- ・ 明和六年 米沢城下絵図デジタルマップ（デジタルマップ）

<https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp/digital-map/index.html>

- ・ 城下居住の藩士 4000 名以上の名前で検索、屋敷地を表示
(中級以上は身分を色分け表示)
- ・ 「文化八年米沢御城下絵図」販売中 (末尾 オススメ図書参照) ※内部索引あり
- ・ 「享保十年 米沢城下絵図」 くずし字を手書きに改め以前に販売。
現在は完売だが、主要な図書館、当館などで閲覧可能。
- ・ 各年代の居住地記録
天保9年(1838)頃 「米沢家中諸士居宅当役細見記」(当館蔵)
各町ごとの居住者と役職、石高。類似資料もあり。

〇おわりに〇

- ・ 藩士調べの前提として→組織と階層の正確な理解と把握
※藩の制度と展開、藩士の仕事、組織などの多面的な理解
- ・ 便利なツールの公開 (郷土資料担当が充実+ネット公開/博物館の役割)

※2月18日以降、一部資料を展示替(展示箇所替えは多数) ぜひ再訪を!
直江兼続・上杉定勝周辺(17世紀の資料は基本的に展示替)
初公開 「泥絵 米沢藩」(江戸上屋敷)・江戸米沢道中図の屏風 など

ギャラリートーク(展示解説): 本日の解説より、テーマを絞って。

- ・ 3月7日(土)14:00~ 「藩士の仕事百景」
武士の「仕事」の多様性に着目し、今回取り上げなかった資料も
取り上げながら紹介。

藩士を調べるために おすすめの販売中図録・書籍

- 図録 『米沢藩 医家の系譜』
藩医の門人:有壁、伊東/飯田家系譜/堀内関係人物紹介(1,980円)
- 図録 『米沢ゆかりの絵師たち4』
館蔵の主要作品とともに、目賀多家の系譜や修行の方法も紹介。(550円)
- 『文化八年 米沢御城下絵図』
全文翻刻。掲載人名のリストは博物館にあり…。(1,650円)
- 『慶応元年分限帳』(米沢市立図書館郷土資料集)
人名や職名の索引が充実。藩士調べにとっても便利!(1,100円)

米 沢 藩 家 臣 団 構 成 一 覧

階層	侍組 <small>さむらいぐみ</small>	三手組 <small>さんてぐみ</small>	三扶持方 <small>さんふちかた</small>	三扶持方並 <small>さんふちかたなみ</small>	訴文組 <small>そぶんぐみ</small>	足軽 <small>あしがる</small>
一言紹介	最上位	中堅	下級だが実務を担う		部下	兵隊
主な組名・ 序列	侍組 分領家 平侍 ※侍組より上位に高家が 位置する。	馬廻組 五十騎組 与板組	猪苗代組 組付御扶持方 組外御扶持方	御徒組 御守組 本手明組	新手明組 奉行同心 台所組 会所番	鉄砲組 長手槍組 弓組 御門番
人数	96	約900	約700	約300	約1100	約1900
戦闘時	従者を連れ 主に騎馬	従者を連れ 騎馬・徒	徒(歩兵) <small>かち</small>			組毎の装備 (鉄砲、弓、 鎗他)
戦闘時の 部隊長	侍頭	宰配頭 <small>さいはいがしら</small>	三手組以上から任命 (組内からは隊長出せず)			三手組の 足軽組頭など
ほうろく 俸禄	地方知行	地方・扶持	扶持取			
	1,600石 ~ 200石	250石 ~25石	おおよそ3人扶持8石~1人扶持2石まで 役職につけば手当7人扶持14石が最高			
	200石が多い	25石が基準			1人扶持2石 5斗が多い	1人扶持2石が 多い
明治2年 11月以降	上士・40俵	上士・20俵	下士・14俵	下士・12俵	卒・9俵	卒・7俵
	100石取りの収入は、実収48石(半分は米・半分は銭)であるが、江戸時代後期は半知借上として 藩が押さえたため、半分となった。 <small>はんちかりあげ</small>					
	1人扶持 武士1人(家族も含め)の生活を維持するのに1日5合の米と算定し、1ヵ月に1斗5升、 1年に1石8斗が支給されるが、米沢藩では寛政11年(1799)より1石5斗6升とした。					
各組ごと 就く藩の 役職例 (役方)	奉行・江戸家 老・御小姓頭・御 城代・御傳役・ 支侯御家老・奥 取次・御役屋之 将	大目付・御側役・中 之間年寄・郡奉行・ 町奉行・勘定奉 行・御使番・右 筆・旅作事・屋敷 之将	代官・役所役・差 紙役・青苧蔵役・ 奉行付物書・役 所日記方・番所 役人・上米蔵 役・御普請方	番所役・役所 役・御林横目	代官所次掛	屋敷割役・土 手漆方・御作 事屋役
	主にその組名の職務に従事					
組内の頭 (番方)	侍頭	宰配頭 三十人頭 足軽組頭 十人頭	五十人頭 肝煎 十人頭	五十人頭 御徒目付 十人頭・番頭	肝煎 十人頭	肝煎 十人頭 番頭 小触

